

特集

チャレンジ大阪 6 「大阪市立工業研究所との産官技術交流会」 ～ 次世代イノベーションを拓く機能性材料 ～

〈開会あいさつ〉

大阪商工会議所 産業・技術振興委員会
委員長 有光 幸紀 氏



本日はご多用のところ、大阪市立工業研究所との産官技術交流会にご出席いただき、誠にありがとうございます。開催にあたりましては多くの関係機関からお世話になりまして、誠にありがとうございます。9月もあっという間に終わり、やっと涼しさを感じられます。昨日は天空の素晴らしいスーパー・ムーンを見ることができ、幸せだと感じました。しかしながら日本の経済はといえば、9月10日に発表された7月の機械受注の状況と設備投資の先行指標である民需の受注が前年比3.6%減となり、これで2カ月連続の減少となり、製造業の落ち込みが見られます。中国の経済減速をきっかけとした不透明の状況が続いております。このような中で大阪商工会議所では、ものづくりに取り組む中小企業の皆様に対して、新産業の創出や開発への支援を行っております。かつての日本は技術大国・日本と言われ、技術力が日本の誇るべき力でした。しかしながら、中国や韓国をはじめ後進国の台頭により、世界における日本の存在感は徐々に後退しつつあります。ものづくりや企業付加価値の高い商品を生み出し、競争力を高めていくためには、新しい技術の導入が不可欠だと考えています。しかしながら中小企業におきましては、財政的、人的な制約もあり、限界があることも事実であります。ものづくり中小企業に対し当面する様々な技術支援をされてお

られるのが、公設試験研究機関であります。中でも大阪市立工業研究所様は、大阪産業経済を支えるものづくり企業に密着した支援活動を実施され、化学やバイオ、ナノ分子の新技术の研究開発をはじめ、企業からの技術相談、受託研究など多岐にわたっておられます。私が子供の頃、この研究所には祖父によく連れていかれて訪問したことがございます。祖父が相談に行ってご指導を受けている姿が思い出されます。新しい技術に取り組むためには、やはりタッグを組んで研究所と接し、大学の先生方とも密に接することで、もう一度、日本や大阪に新しいものづくりに挑戦することが重要なことなので、さらに参加していただくことを切にお願い申し上げます。

本日は大阪市立工業研究所様の最新の研究成果の中から、将来に大きなビジネスチャンスになる可能性を有する、電池ならびに光学機能材料を紹介していただくことになっております。ご参加の皆様におかれましては、新製品開発・創出にお役に立ていただければ幸いに思います。講演会終了後には、ご参加の皆様と研究所の皆様との交流会も開催することにしておりますので、奮ってご参加いただきますよう切にお願い申し上げます。本日のプログラムを通じて、産官技術交流がさらに進化して拡大することを願ひまして、私のご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。